

社会教育委員会 会議概要

- | | | |
|---|-----------|---|
| 1 | 審議会名 | 第7期第6回社会教育委員会 |
| 2 | 日 時 | 令和2年8月4日(火) 午後1時30分から午後2時05分まで |
| 3 | 会 場 | 教育委員会 第1会議室 |
| 4 | 出席者 | 関和幸委員 青木千浪委員 金子昌平委員 竹花のり子委員 早坂淳委員
小山ひとみ委員 清水洋幸委員 滝澤共子委員 西澤むめ子委員
【欠席 滝沢克子委員】 |
| 5 | 市側出席者 | 竜野生涯学習・文化財課長 山田生涯学習係長 宮崎生涯学習係主事 古平地域
学校支援員 |
| 6 | 公開・非公開等の別 | 公開 |
| 7 | 傍聴者 | 0人 記者 0人 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 令和2年8月31日 |

協 議 事 項 等

1 開 会

2 あいさつ

本日はこのような状況のため、30分程度を目安に協議していく。

3 会議事項

1.長野県社会教育委員第三回理事会の報告について等

(委員)県の副会長である佐久地区の方が退任された。次の副会長は会長から8年後関東甲信越静の大会が再度長野で開催されるため、北信にお願いしていく関係から北信地区の方が副会長となった。

総会の書面決議について別にあるので、皆様お手元に別で配布した。

県社教連の34号は、1年に1回出している県の「長野県社教連会報」に活動事例がある。この活動事例の順番票は、上小が今年の当番。今年、上小の総会で竹花代表代理の方で活動報告してもらおう予定だったが、中止になってしまったので、第34号の活動事例については竹花代表代理にお願いしたいということで上小の理事会に持っていきたい。

長野県社会教育研究大会は9月17日で、県の方から各市町村事務局を入れて2名と通知があった。理事は別枠となる。各市町村2名で、上小で8名という枠がある。他の市町村で欠員が出た場合は3人行ってもいいということになっている。8日の上小の会議の状況を見て、また相談したいと思う。代表代理と事務局1名でお願いしたい。

長野県版社会教育委員の手引きを今年作成する。正副会長と、上伊那と私が委員ということになり、県の方へ行くことになった。以上、これが会議報告。

2.提言について

(委員)本来であれば全文を事務局の方で読んでもらいその項目ごとに点検をしていただくことになっていたが、本日先ほどの課長の話にあったとおり短時間でということになるため、各項目ごとに何か意見があったらお願いしたい。提言書について、赤字は事務局の方で入れていただいた。黒字の方は皆さんから出していただいたものをまとめたもの。事前に送っていただいているので、読んできていただいていると思うが、一部委員からの意見も入り、若干訂正してある。

(委員)前文はまたいろいろ変更できるので、1のコミュニティスクールと地域学校協働活動(1)～(6)までで何かあれば。

(委員)2ページの一番上の行の『教員は異動があるため』とあるが、私は『学校職員』というふうにしたが、(事務局で)直していただいている。『教員』という言い方が学校職員は教員だけではないしと思った。『教員は』という言い方をしても失礼ではないのか。

(事務局)教員という表現が良かったのかはわからないが、事務職員も含まれてしまうようなニュアンスに感じられたので…変更させていただいた。

(委員)一般論として、『教職員』とかって名前を使ったりしますよね。

(委員)「学校内部の文脈だと学校職員で教員と職員両方含みますよね。だけど学校の外の人からする

と、教職員という先生と職員という風に認識されることが多いですかね。どちらでも良いとは思いますが。イメージだと職員の方も含めたほうが良いということなのか？

(委員)今回は宛先が教育委員会。提言書っていうと、向こうの言葉にあわせて提言していくほうが理解しやすいと思う。そうすると『学校職員』がいいのかという気がする。

(事務局)では、『学校職員』ということで。

(委員)2のコロナ禍での社会教育の推進ということで1から2まであります。

(委員)今回こういう時代ですのでコロナについても触れないわけにはいかないと思う。非常に大きな内容ですので入れさせていただいた。

(委員)(1)は新型コロナウイルス感染症感染拡大ということのだが、(2)がコロナによって、と簡単な表現になっている。1番の最初のところにも新型コロナウイルスって3回違う。これ統一したほうが良いのか、違和感を感じる。

(委員)省略する場合は()して次からコロナという、とか。

(事務局)そのように修正します。

(委員)次に、公民館運営審議会員のありかたについてということで載せた。手元に、上野が丘公民館運営審議会インタビューについて、という資料。これは上野が丘公民館長が公民館運営審議会委員に昨年10月7日付けで、上野が丘地区の地域づくりにおける公民館の役割についてというのを諮問した。公民館運営審議会の委員さんが1から7までのいろんな団体の社会教育関係団体や地域づくり団体とインタビュー、話し合いをして、それをまとめたもの。答申からインタビューのまとめで、これからの公民館活動、それから子供の時から多様な大人との交流する体験活動、裏の方に行って分館活動について、それから防災の拠点としての公民館活動ということで、A4の表裏にまとめてもらった。公民館、図書館、博物館というのはそれぞれ審議会がある。公民館運営審議会、図書館協議会、博物館協議会がそれぞれ諮問機関となっている。それぞれ館長の諮問を受けて毎年その事業について検討するが、上野が丘公民館ではそれとは別に地域づくりについて諮問したということでもあります。

そもそも公民館ができた背景というのは地域づくり。自分たちの地域をどうしたらよくしていけるのかということできた。それを聞いて上野が丘公民館は諮問して、このような形になった。

公民館運営審議会委員の在り方についてということで、本来公民館運営審議会はどのような公民館事業がその地域にとって適正かどうかというのを住民の意見をいう機関。例として公民館報が中央を除く他の公民館は各家庭に配布だった。それを4月から回覧にした。それは本庁のなかにある自治会を担当する事務局をしているところがそれを決めた。それはなぜかっていうと、自治会からは回覧物を減らせとか配布物を減らせてってことを毎年要望している。

ところが、公民館活動というのは行政機関ではないので、本当は検討しろってことはいいけど廃止をしろってこと、各戸配布を回覧にしろという権限はないが、受けるほうが行政の職員なので、そのとおりにやってしまった。

私はそのやったことが良い・悪いってことではなく、本来の公民館というのは公民館運営審議会にかけて住民の意見を聞いて決めるところなので、ここではっきりと表しておこうということで今回載せた。

(委員)今の公民館報について、私も残念だなんてずっと思っていたので、こういう風に記載していただいたのはすごくありがたく、本当に回覧ってというのは一人が見れば回って行ってしまうもので手元ないのでもうあとわからない状況になってしまうのでそのとおりに思う。

(委員)それでは最後に4、これからの図書館に望むことについて。

(委員)提言は2年に1回出してありますが、前回出して今回なくなってしまうと切れてしまうので、行政というのはやはり2年ごとに必要なことを載せておかないと切れたからいいのではないかということになってしまうので、必要なことはやはり載せておかないと力にならないという経過があるので、代表代理にも相談して書いてもらった。前回の提言書には最後の言葉、委員にまとめていただいたが、今回もこれを読んでいただいてまとめの言葉を作ってもらいたい。

(委員)はい。

3.視察研修について

(委員)皆さんから出欠を取りましたが、状況は。

(事務局)一泊二日で行かれる方が5名と、日帰りで行かれる方が1名という報告をいただいています。

(委員)書類が8月中に県からきます。

(委員)今の段階では欠席で出している。

(委員)皆同じ状況。今のように県外行っただけではいけないとなれば、行くわけにいかない。関東甲信越

静の大会も今の状況が続けばとても集まらない。申込書が来たときに申し込む・申し込まないだけ事務局の方に。もし大会も開けない状況になれば、県内で日帰りで一日目だけで行けるような形で南信の方に行ければ計画したいと思っている。

(事務局)また通知などあったらメール・郵便等でお知らせさせていただくのでよろしくお願ひしたい。

4.長野県社会教育研究大会について

先ほどの通り各市町村 2 名ですので、事務局と委員 1 名でお願ひしたい。子どもを育てる共育フォーラムが、10 月 21 日の午後開催予定。連絡がきたら通知を差し上げるがよろしくお願ひしたい

5.その他

(事務局)早坂先生の方から 5 月から 8 月の 4 回、信濃教育会のブックレットにコミュニティスクールの連載したということで書類の方お配りした。

(委員)今回配らせていただいたのは、提言書に盛り込むキーワードの根拠を連載のなかに入れていただいているということと、もう一つは、上田市の社会教育委員を拜命して、私が勉強させていただいたことをまとめた。この社会教育委員で学ばせていただいたことが載っているの、今日お配りをさせていただいた。

(事務局)クリップ留めで 3 枚ほど配布させていただいているものですが、時間の都合で説明は省略。長野県社会教育委員連絡協議会総会書面決議の結果について、ボランティア保険に新型コロナウイルスが対象になりましたという書類、各学校のボランティア対応状況についてまとめたものをお配りさせていた。また後程ご覧いただきたい。

(委員)かけはしとなりてという上小の社会教育委員で出している冊子がある。皆様に今年お配りさせていただいたが、また今年もこの雑誌を作るということが決まっている。今年の総会も研修会もなかったので、書ける皆さんには全員書いていただきたい。今回提言を皆さんに結構書いていただいたので、その提言を載せても良い方は、本人の了解を取ってからですが、載せたいと思う。総会の費用もすべてかけはしとなりてに使用したいと思う。県下で 7 地区、諏訪地区を除いて全部の地区で出している。今年、特にコロナの問題があったので、コロナでどういう対策を取ったかという各市町村の内容と、なるべく多くの委員の皆さんの意見が書けるような形で持っていきたいと思う。

(委員)8 月 27 日に南信のフォーラムが開催されることが今のところ決まっております、そちらに呼んでいただいている。コミュニティスクールの件についてここで学ばせていただいた内容を報告してきます。もう一つは昨日長野県社会教育委員会会議に出席して参りました。そこでは全県的に取った調査の概要を報告してきて、社会教育委員の方々と、県内の地区のコミュニティスクールの様子を中心にかなり詳細に伺う機会を得ましたので、どこかの機会、そのことについて皆さんと共有させていただきたいと思う。

(委員)提言については、今日出た意見をまとめていただき、事務局の方で整理をしてもらい、また皆さんのお手元にお送りしたいと思う。課長と約束した 30 分を若干過ぎたので、閉会にします。

6 閉会

(事務局)次回社会教育委員会会議は青少年善行表彰の関係をお願ひしたいので、9 月末頃の 28 日から 30 日でお願ひしたい。

(委員)この大変な時にお集まりいただきありがとうございました。充分論議は出来なかったかとは思いますが、皆さんから出た意見をまとめていただき、またお送りしたいと思う。以上。